

広報

たつごう

2018. 8

フォトレポート／明治維新150周年記念シンポジウム

西郷隆盛と菊次郎



新連載／地域おこし協力隊がお伝える
龍郷町の魅力★再発見

西郷が最も長く過ごした地

フォトレポート
たつごうふるさと祭

好評/連載企画チャレンジだつごう

地域おこしとは？

龍郷町の人口 平成30年7月末現在(前年比) 3,072世帯(+44) 男2,905人(-4) 女3,124人(+17) 計6,029人(+13)

たつごう 2018 ふるさと祭

★
舟こぎ
競争

心配された台風はどこへやら。晴天の中、7月22日、第26回龍郷ふるさと祭が開催されました。祭りのスタートは舟こぎ競争。優勝を目指すチーム、完走が目標のチーム、応援する家族、集落の人たち。今年も会場にはたくさん笑顔がふれていました。



Congratulations

第26回舟こぎ競争大会結果

小学生の部

優勝 戸口ファイターズ 2分54秒51
第2位 TTT(トリプルT) 3分00秒80
第3位 龍郷女子バレースポーツ少年団 3分03秒47
第4位 龍郷FT9 3分15秒84

女子の部

優勝 マヒマヒ 2分26秒95
第2位 浦womanズ 2分31秒69
第3位 TEAMあいかな 2分36秒90
第4位 赤尾木婦人会B 2分39秒37

男子の部

優勝 グリーンヒル手広海賊団 2分11秒11
第2位 フレッシュまどか 2分12秒63
第3位 芦徳青壮年団A 2分14秒49
第4位 安木屋場 2分16秒85





たつごう 2018 ふるさと祭

★
芸能
大会

今年の芸能大会は、雲が夕日を隠し、例年に比べて涼しく過ごしやすいスタートでした。鹿児島島から来島されたエラブチ剛さんのステージでは町長も一緒に熱唱を見せ盛り上がりを見せました。

そして上戸口集落による八月踊りで祭りはクライマックスを迎え、花火が祭りの終わりを告げました。





7/26 円子ども育成会 全国子ども会連表彰伝達式

子ども会の活動を称え表彰を行う公益社団法人全国子ども会連合会にて、円子ども会の八月踊りへの取り組みがこの度受賞され、伝達式が町長室にて行われました。円子ども会では毎月第3金曜日に公民館で唄や踊りの練習を続けてきました。活動



を支えてきた柿園幸太郎さんは「22年間続けてきた活動が評価されたことは非常にうれしい」と感想を述べました。

8/1 旅するムサビプロジェクト in 赤徳小学校 黒板ジャックがやってきた

アートで交流を図る武蔵野美術大学の有志団体がこの度、学校を訪問。サプライズで各教室の黒板全面に描き上げられた絵画に子どもたちは大喜び。思わず手で触れてみたり、自らチョークで書き足してみたり、文字通りアートに触れることができました。また学生



たちが持参した作品も鑑賞。油絵のにおいを嗅いでみたり、キャンバスの裏をのぞいたり、自由な鑑賞を楽しみました。

8/10 龍南中学校吹奏楽部 県コンクールにて金賞受賞

40校が出場した中学校Bの部で快挙を成し遂げた同部が町長室を訪問し、受賞を報告しました。町長は「多くの町民が喜んでいいます。本当に素晴らしい。」と称賛すると共に、古い楽器や、他団体から楽器を借りて活動しているという部の状況に驚き、「な



んとか支援をしてあげたい」とコメント。町はふるさと納税寄附金を活用し楽器を購入できないか検討していく方針です。

7/28 みやまコンセール、龍郷町教育委員会主催 みやまふれあいコンサートinたつごう

「第39回霧島国際音楽祭2018」の一環として企画されたこのコンサートには、国際的に活躍するピアニスト・三船優子さんと指揮者・海老原光さんが出演。集まった多くの観客が演奏に聴き入ったほか、「指揮者体験」や「ピアノ連弾」など、観客参加型のコーナー



もあり盛り上がりました。最後には会場一体となって「ふるさと」を歌い温かい空気に包まれ幕が下りました。

8/7 嘉渡集落 火災現場 龍郷町建友会ボランティア活動

7月17日、19未明に立て続けに起った火災現場二か所を、会員21社から約40人が3日間参加してユンボ8台、ダンプ10台を導入して、次々と瓦礫の撤去作業が行われました。また、集落では飲み物やお弁当を準備し、作業を見守りました。役場では



義援金箱を正面玄関に設置しています。みなさまの温かいご支援、お待ちしております。

8/15 龍郷町『平和の塔』前にて 戦争犠牲者追悼式

73年が経ち、平成最後の終戦記念日。当日は突然の大雨や、強風が吹き荒れましたが、式典の間は雨も上がり、役場前の『平和の塔』の下には今年も多く



の参列者が集まり追悼の意を表しました。今年の児童生徒代表は龍郷小学校の泉愛子さんと最上美里さん、龍北中学校の隈元莉緒奈さんと中村光希さん。町長をはじめ各団体代表と一緒に子どもたちも献花し、手を合わせました。

食料品の備蓄していますか？



災害対策基本法の改正により、災害時の食料や飲料水、生活必需物資の備蓄が住民の責務となっています。

大規模災害時には食料や水が不足する事態が発生します。日頃から備蓄に心がけたいところです。

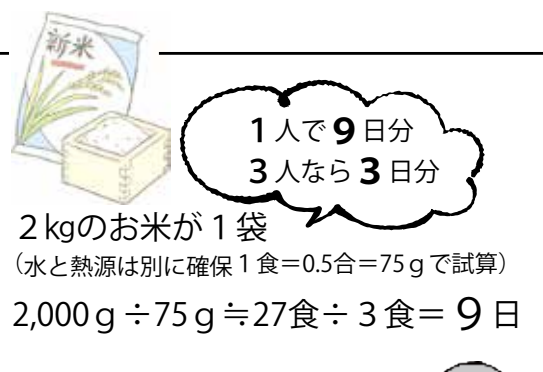
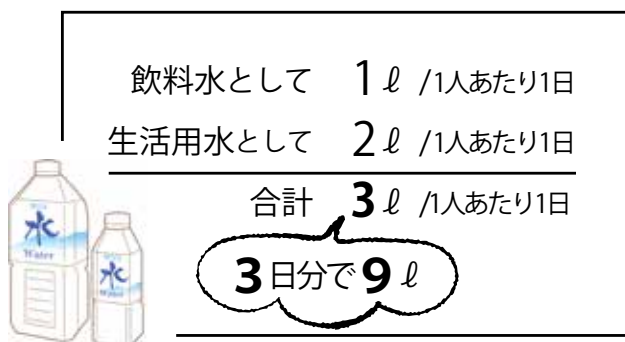
災害発生から3日をめどとして、食料や飲料水を備蓄する場合、どれくらいの量が必要なのでしょう

■災害対策基本法

第7条第3項（住民等の責務）

地方公共団体の住民は、基本理念にのっとり、食糧、飲料水その他の生活必需物資の備蓄その他の自ら災害に備えるための手段を講ずるとともに、防災訓練その他の自発的な防災活動への参加、過去の災害から得られた教訓の伝承その他の取組により防災に寄与するように努めなければならない。

★例えば水と米なら・・・



この他の備蓄食料をそろえるとかなりの量となります。また、災害はいつ来るかわからないため、長期保存をしなければなりません。市販でも様々な長期保存が可能な非常用食料などが販売されています。保存期間は市販の製品にもよりますが、おおむね3年～10年です。

市販の非常用食料を利用する場合には、保存年限内に買いなおしておくことが重要です。



非常用食料はきちんと管理しておかないと、いざという時にどこにあるか分からなくなることもあります。また、保存年限が長い

ため、ついつい買いなおすことを忘れることもあります。そこで、市販のレトルト食品やカップラーメン、缶詰などを利用する方法があります。この場合は、年に2回程度（たとえばお正月のおせち

に飽きた頃と夏のお盆前後）買いなおして消費するなどのサイクルを決めておく

と、無駄にならず、買いなおしも初商いやお中元セールを利用でき、お得になります。また、お米は買ってき

たときに、500mlのペットボトルに詰めておき（1本で約3合はいります）、次回お米を買ってきた時に入れかえることで常時の備蓄が簡単にできるようになります。

もし災害が発生して避難しなければならない時には、お米を詰めた500mlペットボトルを1人1本持っていくと決めておくことも、いざという時の食料確保には重要なこととなります。

★こんな方法もあります

いろんな工夫で日常から
災害に対する備えをしておきましょう！

龍郷町農業委員会より「全国農業新聞」購読推進のお願い。

龍郷町農業委員会では、「全国農業新聞」の購読を推進しています。

農業新聞のメリット

- 1 「なるほど！」新たな農業委員会制度の詳細な解説と事例の紹介
- 2 「目からウロコ」わかりやすい農政・施策の解説
- 3 農業経営に役立つ情報を満載！！
- 4 地域づくりの事例があなたの地域の参考に！
- 5 豊かな暮らしに役立つ話題がいっぱい！

毎月2回発行 月700円

【見本】あります。

※詳しくは農業委員会までお問い合わせください。

☎0997-69-4524（直通）

★全国農業新聞より（平成30年7月25日）

（金） 全 国 農 業 新 聞

（第3欄郵便物認可）

農地利用の最適化って何？



みずほ 瑞穂
市内の普通科高校1年生
(16歳)、社会科が得意
で好奇心おう盛

農地利用の最適化

担い手への農地の
集積・集約化

遊休農地の発生防止・
解消

新規参入の促進

農業委員、推進委員が行うこと

人・農地プランなど集落における話し合い
の場づくり、農地の利用調整など

農地パトロール（利用状況調査）、利用意向
調査など

新規就農の促進、企業の農業参入の促進



こういち 耕一
いなかに住む瑞穂の伯父
(50歳)、市の農業委員
でもある

両委員 地域に根差した活動を展開

瑞穂 地域のみんなで見守ることを意識して、農地を有効に活用したい。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。

耕一 地域のみんなで見守ることを意識して、農地を有効に活用したい。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。

瑞穂 地域のみんなで見守ることを意識して、農地を有効に活用したい。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。

耕一 地域のみんなで見守ることを意識して、農地を有効に活用したい。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。

瑞穂 地域のみんなで見守ることを意識して、農地を有効に活用したい。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。農業委員会の活動が、地域の活性化に貢献している。

担い手へ農地集める・遊休農地減らす・新規参入促す

農地全部見て回って状況を確認

アゲリの話



荒れている農地は、持ち主に意向確認。耕一、ふりまわす。瑞穂、うわあ、おじさん汗だく。高校球児みたいだよ。

耕一 農地パトロール（利用状況調査）に行っていたんだ。午前中だけで100軒近く回ったよ。

瑞穂 暑い中なのに、お疲れさま。でも、農地パトロールって何をやるの？

耕一 一年に一度、農業委員と農地利用最適化推進委員で、地域の農地がどう使われているか実際に目で見て確かめるんだ。書類だけだと分からないこともあるからね。

瑞穂 地域の農地全部を見て回るなんて大変だね。荒れている農地があったらどうするの？

耕一 遊休農地は、今後どうするつもりなのかを地主に確認するよ。そして持ち主の意向もあわせて担い手につないだり、農地が有効に使われるようにサポートするんだ。ちなみに2015年に改正された農業

委員、農業委員、推進委員が行うこと。人・農地プランなど集落における話し合いの場づくり、農地の利用調整など。農地パトロール（利用状況調査）、利用意向調査など。新規就農の促進、企業の農業参入の促進。

瑞穂 農地パトロールの他にどんな活動があるの？

耕一 担い手に農地を集めるために、地域の農地が話し合う場を作るよ。農地を借りた人、貸した人、どうも協力するんだ。市町村やJICAなども連携して、地域の受け入れ体制を作っているんだ。

瑞穂 農業委員さんたちが持つ地域での信頼が生まれるね。

耕一 そうなんだ。農業委員や推進委員は地域に根差した人であることが大切なんだ。おじさんも地域の

一員として、みんなの将来を思ったり取り組むよ。さあ午後からまたパトロールだ。

瑞穂 おじさん頑張ってるね！

参加期間

平成30年11月1日～平成31年1月31日の3か月間（1日3時間程度）

医療や介護の経験者、シニア、主婦も大歓迎。まずは説明会（裏面）にお越しください。
あなたも、みんなで支える「安心できる地域社会」づくりに参加してみませんか？

介護てつだい隊事業参加者募集！

簡単な業務（片付け・清掃等）から技術・経験を活かした内容まで、
貴方しかできないお仕事がここにあります。

孫に
おこずかいを
あげられた！

持つる知識を
活かしたい！

生涯現役！

楽しみを
生きがいに！

人と触れ
合えるのが
好き！

空いた
時間に
働けた！

介護てつだい隊説明会会場一覧 来場する方は、お電話でご予約ください。希望する会場の開催日前日まで
に直接お電話ください。（電話受付〈月～金〉9:00～17:00）

エリア	開催日・時間	会場	電話番号
奄美	H30.9.29(土) 10:00～11:30	特別養護老人ホーム 奄美の園 大島郡瀬戸内町古仁屋瀬原1283-27	0997-72-0892
	H30.10.6(土) 13:30～15:00	特別養護老人ホーム 加計呂麻園 大島郡瀬戸内町伊予茂187-1	0997-76-0808
美	H30.10.10(水) 10:00～11:30	特別養護老人ホーム 愛寿園 大島郡能登町浦1874	0997-62-2175
	H30.10.10(水) 14:00～15:30	養護老人ホーム 寿老園 大島郡瀬戸内町古仁屋瀬久井西7-3	0997-72-3364

【介護てつだい隊1期生のご意見】

「利用者の方とのふれあい、語りが楽しかった。」「感謝の言葉が気持ちいい。」「職員が明るく、利用者の方も喜んでいる姿が素敵でした。」「自分の体力作り、メリハリの生活が良かったです。」「大変そうとは思っていたが、若い職員さんが一生懸命働いている姿を見て感心し、老後が明るく見えた。」「介護職さんが利用者の方に温かく声を掛け、どんなことにも対応されている笑顔ある職場に、自分の親の様で有難いと思いました。」 など

主
催

鹿児島県社協老人福祉施設協議会

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号（県社会福祉センター4階）
TEL 099-297-5611（土・日・祝日を除く平日9:00～17:00）
（MAIL）jimukyoku@k-rousikyo.com



（最寄りの施設・事業所）

特別養護老人ホーム愛寿園

担当：重枝祐介

電話：0997-62-2175



MBC 奄美大島ふるさとウィーク



- 秋名・幾里で開催される「ショチョガマ・平瀬マンカイ」の時期に
- 合わせ、MBCラジオ・テレビ・インターネットなどで奄美大島の
- 話題をとりあげる「MBCふるさとウィーク」が行われます。
- 期間中は、シマの情報や話題がとりあげられます。

■期間 **9月10日(月)～9月16日(日)**

MBCラジオ



「モーニング・スマイル」

月～金 6：30～9：37



「たんぽぽ倶楽部」

月～金 10：00～12：50



「城山スズメ」

月～金 13：30～16：40



「探検!かごしまじかん」

土 15：00～16：20

など

MBCテレビ



「かごしま4」

月～金 15：50～16：50



「昭和のふるさと」

月～金 18：55～19：00



「ズバッと鹿児島」

土 9：30～10：20



「かごしまドローンTRIP」

日 22：54～23：00

など



かごしまの"今"を伝える MBCアプリ



MBCアプリ

検索

みる・きく

テレビ・ラジオの
番組情報をcheck!

最新ニュース

スクープ投稿応募する

動画・写真・メッセージを簡単に投稿!

more MBC+

パーソナリティのことやお得なクーポンも!



MBCのテレビ・ラジオ・イベントなど
様々なコンテンツにアクセスできる
「MBCアプリ」がパワーアップして登場!
気象や地震、桜島噴火などの情報を
プッシュ通知でお知らせします。

天気

お住まいのピンポイント予報と
気象レーダー画像を表示!

知る

「どーんと鹿児島」で紹介した
お店情報やイベント情報も!

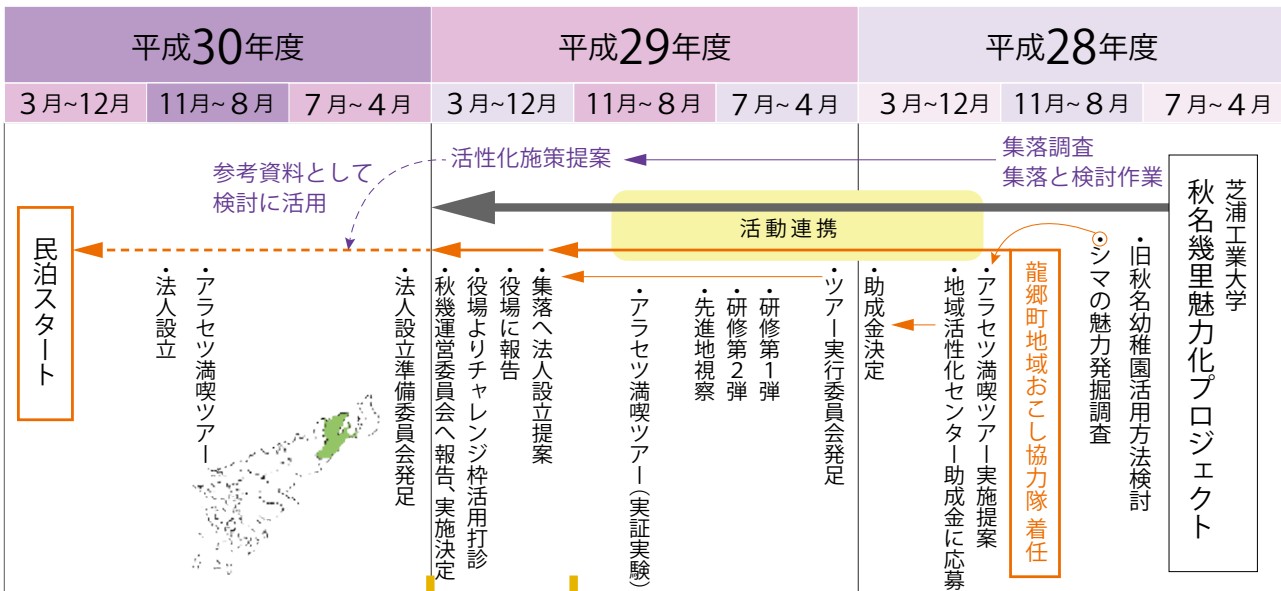


龍郷町は、地域の課題に果敢に挑む地域の活動を応援し、地域によるチャレンジがますます拡がることを目指します。そして、このコーナーでは、秋名・幾里で動き出した「環境文化型体験交流事業」とは、どんな活動なのかを地域おこし協力隊の村上が連載形式でご紹介します。

■地域おこしとは？

平成29年アラセツ満喫ツアーを終え、反省会を行いました。今回のツアーは、集落資源を活用して集落自身が行う魅力発信の実験。まずは、自分達で出来るかどうか、参加者にとって魅力的かどうかの検証が目的でした。そして、自分達にも出来る、参加者にも喜んでもらえたという感触を得て、次にどのように活かすか。この経験を活かすにも、自分たちが目指す将来は何か（＝目的）、そしてその将来の実現に必要な取り組みは何か（＝手段）を整理していく必要があります。いわゆる『地域おこし』という言葉の定義のすり合わせです。老若男女、様々な観点から意見がありました。が、共通していたのは「この集落に若者や子供が住み続け、将来に集落を繋げたい」という想い。その想いを実現させるために、今回の経験を活かしてどのような仕組みが必要かを具体的に考えて行くことにしました。

これまでの活動



今回ご紹介部分



■地域に必要な仕組みとは？

地域に必要な仕組みは様々です。目的に沿ったあるべき姿を整理するために、ツアーから見えてきた集落の強み、

皆の想い、そして、集落・奄美・日本を取り巻く環境を洗い出しました。その結果、集落資源を活かした宿・食・体験等から『シマ』を体験する観光事業の立ち上げという構想に至りました。目的は、集落を存続させること。文化は、人が居なくては存続しません。人は何もしなければ、減る一方です。この事業の狙いは、集落の暮らしぶりを活かした魅力発信による、ファンづくりです。私の様に奄美のファンになって移住する人もいますし、世の中は移住への関心が高まっています。移住しなくても人と人が繋がることは集落の大きな財産です。言うは易く行ふは難し。実行委員会で賛同が得られるか、非常に不安でした。反対意見が多ければ取り下げる覚悟で臨みましたが、賛同を得ることができ、運営委員会へ提案することになりました。